

天に舞い
地を駆け巡りて—

石見神楽

東京公演
2025

第8弾

石見神楽
亀山社中

島根県
浜田市



令和7年

4月19日(土)

会場 | 台東区立浅草公会堂
東京都台東区浅草1-38-6 TEL03-3844-7491

前売券 / S席 ¥6,500 (当日¥7,000)
全席指定
A席 ¥5,500 (当日¥6,000)
B席 ¥4,500 (当日¥5,000)

※当日券発売あり
※3歳未満は無料(ただし席上での観覧に限る)



語りべ
鈴木 拓樹
司会 | 源馬ちか子

一般発売 2024.12/10(火)~2025.4/13(日)

- 浅草公会堂(窓口のみ・予約不可) 管理事務所で取り扱い 9:00~17:00
- チケットぴあ(セブン-イレブン) <https://pia.jp/> (Fコード:530-268)
- ローソンチケット(ローソン・ミニストップ店内 Loppi) <https://l-tk.com/> (Lコード:32856)

島根県の
物産販売
あり

華麗にして勇壮な舞の世界へ



石見神楽参上!
再び浅草の地へ
花形の「大蛇」や渾身の力作「大江山」を
はじめ、重厚感、迫力ある演目を
お楽しみに!

石見神楽 亀山社中

鳥根県西部「石見地方」に伝わる石見神楽。その中でも異彩を放つ石見神楽亀山社中の舞。その躍動感あふれる圧巻の舞台には、誰もが驚き心を奪われることでしょう。あなたも、石見神楽亀山社中の神楽舞をぜひご堪能ください。

- | | | | | | |
|----|-------|------|------|-------|-------|
| 1部 | ① 儀式舞 | ② 岩戸 | ③ 大蛇 | ④ 恵比須 | ⑤ 大江山 |
| 2部 | ① 儀式舞 | ② 塵輪 | ③ 大蛇 | ④ 五條橋 | ⑤ 頼政 |



大蛇

弟神、須佐之男命の悪行に大御心を悩まされた天照大神は天の岩戸にお隠れになり、世の中は常闇に。そこで、兒屋根命、太玉命をはじめとする八百万の神々の神隠しにより、宇津女命の御神楽の賑わいに少し開かれた岩戸を、手力男命が懸念に開き、世の中に再び光が戻る。



恵比須

鳥根県美保町、美保神社のご祭神で漁業、商業の祖神として崇拝される恵比須様が、美保の岬において鯛釣りを楽しむ様を舞ったものである。恵比須様は、大國主命の第一の皇子で、大鯛釣り好きな神様であったといわれている。



塵輪

第14代天皇、菟中津日子命(神武天皇)が、異国より日本を我が物にせんと攻め来た数万騎の軍勢の頭、塵輪を天皇自ら家来の高麻呂を従え、笑の真見弓、笑の羽々矢をもって退治したという神楽である。



この神楽は、「大江山給詞」、御伽草子「酒吞童子」を題材に、能「大江山」を翻案して作ったものと思われる。丹波の国大江山に、酒吞童子という悪鬼が配下を従えてたてこもり、郡はもとより辺りの庶民を苦しめていた。時の帝、一条天皇は、源頼光、淡辺頼、坂田金時などに酒吞童子退治を命じ、頼光一行は山伏修験者に変装して大江山に上り、ついに酒吞童子を退治する。

比叡山西塔の弁慶は、毎夜、京の都に出ては刀狩をしていた。五條橋に化鳥の者が出没し、通行人を悩ませているという噂を耳にした弁慶は、この化鳥の者を退治してやろうと思立ち五條橋へと赴いた。この者の正体は鞍馬の山を下り自分の力を試す牛若丸だった。

五條橋



平安時代の末、近衛天皇は毎夜丑の刻になると、ものけに悩まされ、勅命を受けた源頼政は猪早太とともに東三条の森へ退治へ向かう。その正体は、頭は狼、体は牛、手足は虎、尾は蛇の姿をした又エだった。見事又エを退治した頼政は、天皇より刻を授けられる。

頼政



須佐之男命が、出雲の国釜の川にさしかかると、老夫婦に出会う。夫婦には八人の娘がいたが、毎年現れる大蛇に、娘をとられ、残る香積田姫もやがて大蛇にとられる運命にあるという。命は、老夫婦に毒酒を用意させ、それを飲み酔いふした大蛇を見事退治する。

大蛇



公式サイト

令和7年 4月19日(土) 台東区立浅草公会堂
東京都台東区浅草1-30-6 TEL:03-3944-7401

開場 10:30 開演 11:00 出 石見神楽亀山社中
開場 15:00 開演 15:30 演 (鳥根県高田市)

主催 石見神楽東京公演首都圏実行委員会
【公式サイト】 <https://love-iwamikagura.com/> 石見神楽忠徳団 in 首都圏

